

市議会モニター制度について

職務について

○市議会モニターの職務は、市議会運営に関する意見を述べることだと就任当初に言われたが、実際に出されるのは、地区の問題点や市政に関する意見が多いようだ。市議会モニターが市政に関する意見を言ってもよいのか分からない。

→ 議員）市議会モニターの主な職務は、市議会の傍聴やテレビ視聴、研修会や意見交換会への出席を通じて議会運営に関する意見を提供することである。昨年の市議会モニターの意見交換会では、地区の問題点に集中してしまっていたが、それだけ市政について考えてもらっていることは非常にありがたいことだと感じている。

○発言できる内容が制限されると、発言してもよい内容なのか迷うので、幅広く意見を出せる方が、発言しやすいのではないかと思う。

○議会のスケジュールのような、具体的な運営内容についての意見を求められても、市議会モニターの立場で意見することはできないのではないか。

→ 議員）本会議や常任委員会を傍聴していただき、例えば、一般質問が長引かないように休憩時間を調整するなど、見る側からの意見をもらえればと思う。

○寄せられた意見は、市議会モニターのみ意見なのか、一般の方からの意見も含まれているのか、市議会モニターと一般の割合はどれくらいなのか。

→ 議員）寄せられた意見については、市議会モニターからの意見のみである。一般の方からの意見については、議員のみが見られるようになっている。また、議案に対する意見募集についても、一般の方からも意見を聴取している。

○もっと議会に意見を集めるには、各地区に市議会モニターがいて、自分で言うのが難しい場合は、市議会モニターに伝えてもらうよう広報することも考えてもらいたい。

○自分の出した意見がすぐに実行してもらえたこともあって良かった。友人に市議会の情報を伝えると、自分あてにいろんな意見が届くので、その意見を市議会に送っている。市民の関心を高めるのも市議会モニターの役割だと思っている。

○市議会モニターの役割は市民の声を伝えるものなのか、議会の意見だけを聞くものなのか、明確にしてほしい。また、市民の声をもっと表明できる場が必要だと感じている。

→ 議員）市議会モニターの役割は、本会議や委員会などの運営について、傍聴者が感じた改善点などの意見を出してもらうことにあるため、市議会モニターの意見交換会は、議会運営に関する具体的な改善点を話し合う場としてご理解いただきたい。

→ 議員）市民の意見を聴取する場は議会報告会やシティ・ミーティングなどがあるが、参加者が少ないのが現状であるため、市民の声を聴取する手段として、「まちだん」のような意見を集める仕組みが必要だと思う。

やりがいについて

- 投票以外で、議員とのつながりは一切なかったが、今回のように議員と直接顔を合わせて討論できる場が設けられたことに、非常にやりがいを感じる。
- 市議会モニターの活動を通じて、議員から色々な意見を聞けるようになったことや、自分たちの地区の改善点について意見を述べられるようになったことがメリットであると感じている。

市議会だより、市議会ホームページについて

広聴機能について

- 「まちだん」では、自分が尋ねたい議員を選ぶことができ、特定の議員とつながることができる。この仕組みを利用することで、議員に対して具体的な資料のリクエストや意見を伝えることが可能になるのではないか。
 - 議員)「まちだん」は10月31日で実証実験を終了している。市民が市議会をより身近に感じ意見を言える手段として「まちだん」は非常に良い取り組みだったと考えている。デジタルの時代に合わせて、若い方の意見を聴取する手段として、こういった取り組みは必要だと考えている。
- 「四日市でこれをやってほしい」という時に、その分野を得意とする議員に意見を伝えられるルートを作ってもらいたい。

市議会ホームページについて

- 携帯電話でホームページを見ている、途中で使い方がわからなくなり、結局やめてしまうことが多いため、紙の方が使いやすい。
- 市議会のホームページにある議員紹介欄について、議席の配置図も掲載すれば、傍聴に行った際、どの議員がどこに座っているかがわかりやすくなると思う。
 - 議員)傍聴の際には配布しているが、ホームページへの掲載についても検討する。

その他

- 一般質問に対する、市からの回答は前もって議員に提供されているのか。
 - 議員) 答弁を作成する過程で議員と行政側が何度もやり取りを行い、その中で答弁が作られているが、実際の答弁を、議員が事前にすべて把握しているわけではない。
- 答弁の際に、条例の何条に基づいて決まっているなど長々と説明をされても、議員の持ち時間は限られているため、時間が無駄になると思う。議員が質問したことに対して、まず答えを簡潔に伝え、その後詳細を説明する形にすれば、時間を効率的に使えると思う。
 - 議員) 議員の考え方やスキルの問題もあるため、必ずしも行政側にばかり問題があるとは思わない。行政側の答弁が「できません」や「検討します」で終わってしまった場合、それで終わらせないために、どうやって継続して議論していくのか、どうやって答えを引き出していくのが議員側の課題だと思っている。
- 行政側の説明が長くなると、どうしても議員が話す時間が短くなってしまいが、解決策はないのか。
 - 議員) 例えば、行政側には「この質問には何分で答えてください」と分数を指定する。もしそれ以上長引いた場合は、自分の意見を少し短くしたり、質問にはあまり影響しない部分を

省いたりするようなことが、議員の技量の一つだと考える。

→ 議員) 一般質問は、議員が自己主張を投げかけるというよりも、行政側から回答をもらうことが主だと思っている。限られた時間の中で、すり合わせのない部分の答えをどれだけ引き出せるかが、議員個人の技量だと考えている。

○資料の投影について、議場に映し出されるだけでは記憶に残りにくいいため、傍聴者用に紙資料を用意してもらえないか。

→ 議員) 理事者側の資料は事前に出てくるが、議員の資料については、どの議員がどの資料を出すかについて把握していない。議員が出す資料について、配布できるかどうかについて議論したいと思う。

○本会議を傍聴した際、モニターに映し出される資料が本当に小さくて内容を確認するのが難しかったため、資料が欲しいと感じた。

○市議会を傍聴した際、ある新人議員が頼りない発言をしており、市民の信頼を損ねると感じた。当選回数に関わらず、多くの市民の負託を受けていることを自覚してもらいたい。

○傍聴していて、議会での発言が聞き取りにくい場合、入口から入って左側の字幕モニターを利用すると発言内容がよくわかるため、モニターの大画面化や傍聴席中央への増設も検討してほしい。また、ポインターの指示がわかりにくいので、傍聴者にとって見やすくわかりやすい工夫や設備の改善が必要だと感じる。こうした改善により、議会の傍聴が増えるのではないかと思う。

○予算と決算のサイクルについて、「市議会だより」などで視覚的にわかりやすい形で市民に説明し、議会の活動が分かるようにしてほしい。

→ 議員) 前年度の決算から次年度の予算への連動の仕組みは、決算を各常任委員会で審査し、認定する過程で課題を抽出し、次年度の予算に反映するための提言を市長に提出するものである。これにより、前年のやり残しや必要な予算増額を議論し、政策提言として次年度予算に反映させる流れを確立している。議会だよりの記事も分かりにくいと思うが、より分かりやすくなるよう考えたい。

○一般質問に対する回答で、市からは「進めます」や「検討します」などの回答がある。「検討します」という回答ならば、一般市民としては前向きに進めるものと期待するが、議員としてはどう捉えているのかを知りたい。

→ 議員) 「検討する」は必ずしもやっていくことを意味しないため、本当に進めてもらえる場合はその場で「進めます」といった明確な返答があることが多い。内容により異なるが、「検討する」と言われたら、さらに推し進めるためにもう一押し、二押しする必要があると感じている。また、予算が大きいものについては、検討するのに2～3年かかるものもあるので、本当に前向きにやるのかどうかを確認している。

→ 議員) 検討した結果どうなったのか、後で確認する議員もいれば、ただ質問して終わる議員もあり、各議員の対応は異なる。

市議会モニター制度について

○市議会モニターの意見がどのように反映されているのかわかりにくい。

→ 議員）いただいた意見のうち、改善できることがあれば、機会を通じて改善していきたい。

○地域の課題を議会に届けられるような制度にしてほしい。

→ 議員）議会ではシティ・ミーティングのほか、出前型の意見交換会「ワイ！ワイ！GIKAI」などを開催する中でも地域の声もお聞きしている。

○市議会モニターを経験することで、市議会について関心を持つようになった。もっと多くの人が市議会モニターを経験できるように、モニターの任期は短くても良いのではないか。

○市議会モニターの任期について、1年では議会の仕組みが分からないため、2年程度はあった方が良いのではないか。

→ 議員）任期が1年では短すぎるという意見もあれば、多くの方にやっていただいたほうが良いという意見もあるので、バランスを考えながら今後も検討していきたい。

○市議会モニターの活動をフィードバックする機会がほしい。

○モニター制度があることを知らない人が多いので、若い世代にもモニター制度を知らせるような広報活動をしてほしい。

→ 議員）SNSやインターネットによる情報発信に努めたい。また、市議会モニター制度を案内するチラシなどがあると分かりやすいかもしれない。

○市議会モニターが率先して、モニターの活動をPRし、市議会の情報を伝えることが重要だ。

→ 議員）市民がSNSで市議会の情報発信に協力している自治体もあるので参考にしたい。

市議会だより、市議会ホームページについて

○市議会だよりについて、文字が多いので最後まで読むのが大変だ。もう少し読みやすくする工夫が必要ではないか。

○市議会だよりや市議会ホームページをもっとPRし、市民に見てもらえるような工夫が必要だ。

○市議会だより#こども号は内容が非常に分かりやすかった。定例月議会の市議会だよりも分かりやすい内容にしてほしい。

○市議会だよりの一般質問の概要に掲載してあるQRコードで、簡単に録画映像を視聴することができるのでとても便利だ。

○一般質問の録画映像を全て視聴するのは大変だが、市議会だよりの一般質問の概要は簡単に読むことができて助かる。

○一般質問、代表質問の録画映像はテーマごとに開始時間が表示されているので関心のあるテーマの議論が見やすい。一般質問、代表質問以外の録画映像も同じように関心のあるテーマから視聴しやすくする工夫が必要ではないか。

○Youtubeによる委員会の録画映像について、チャプターの設定をするなど関心のある部分から視聴できるようにしてほしい。

○一般質問の録画映像について、議員の映像は小さく表示し、モニターに投影していた資料を大きく

表示してはどうか。

○市議会だよりに写真入りで市議会モニターを載せたらどうか。身近な人がこうした取り組みをしていると知れば、その周りの人も関心を持つのではないか。

その他

○議会報告会へ行ったが、市民の数が少なく驚いた。開催方法を検討した方が良いのではないか。

→ 議員) ホームページや市議会だよりなどで市民へ周知し、多くの市民に興味を持ってもらえるようにしたい。

○本会議の傍聴者の人数が少なく寂しく感じた。もっと多くの人へPRしていくべきではないか。

→ 議員) 議会の議論は市民にとって聞き慣れない言葉が使われるなどして分かりにくい。市民が参加しやすく、理解しやすい議会運営を目指していきたい。

○本会議場で投影された資料が傍聴席からは見えにくいいため、傍聴席にもモニターを設置してはどうか。

○本会議場で資料が投影されるが、文字や図が細かくて見えない。

→ 議員) 例えば、タブレットを貸し出すなどの対応も含め、改善に繋げていきたい。

→ 議員) 議員が傍聴者に見やすい資料作りをする必要がある。

○傍聴席が狭く、階段も急だと感じた。空席の議席や速記席などのスペースがあるので、傍聴席の位置などを見直してくべきではないか。

→ 議員) 議員の顔が見られるように傍聴席を設置している市議会もある。市役所の建て替えなどのタイミングで、他市議会も参考にしながらどのような議場が良いか検討したい。

○市民が市議会の活動に参加しやすくするため、お茶などを提供してはどうか。

→ 議員) 他市議会では、議会傍聴者にポイントを付与する取り組みもある。ポイント制度やその他のインセンティブを導入することで、市民が積極的に市議会の活動に参加しやすくなるような他市の取り組みも参考にしたい。

○市議会への市民の関心を高めるには、地域の掲示板にポスターを貼ったり、地域のイベントでブースを設けたりするなど、もっと積極的に広報活動を行うべきだ。また、テレビやラジオなどのメディアを活用してするのも有効だと思う。

市議会モニター制度について

職務について

○市議会モニターは議論の内容について意見はできず、議会運営に関する意見を出すことに留まっている。議場で投影される資料が見にくいので改善してほしいと繰り返して意見している。

→ 議員）分かりやすく資料の内容を説明できればいいと思う。今後は気をつけたい。

○市議会を傍聴したり、中継を見たりすることは市議会モニター以外でもできる。市議会モニターしかできないことが何か分からない。桑名市や菟野町など他の自治体の議会の傍聴に行って、傍聴者の様子を見てきたが市議会モニターと比較しても差はない。

→ 議員）個人的な意見だが、市議会モニターは市議会から委嘱をしている点で他の方とは違うが、それを活かせるような市議会議員と市議会モニターが個別具体的な市政のことについて話し合う場がないので、そのような場を作りたい。

○例えば、市議会モニターに配られる傍聴券を持っていたら、自由に会派室を訪ねることができるとか、市議会モニターだけ参加できる特別な講習会や講演会に参加できるとか、オリンピック選手のような著名人が来た時に歓迎セレモニーが開かれるが、それに招待してもらえとか、何らかの特典がほしい。一般の人と差をつけてほしい。

○議会改革検討会議の議事録で市議会モニターの活躍の場を設けるとあったが、市議会モニターの職務の何が変わったのか。

→ 議員）新たな取り組みには多くの議論が必要になるが、ご意見をもらえないと議論することもできない。市議会モニターの方々に議会の中に入ってもらうことが必要だと考えるので、積極的な意見がほしい。

○過去2年の市議会モニター意見交換会の概要を読んだが、毎年同じような意見がどこの委員会室でも出ているのに、全く改善されていないので、市議会内で議論されていないのではないか。

○市に提案するのは議員の本分なので、市議会モニターはそこまでできないが、市議会モニターと議員との距離が他の市民よりも近くなれば、自分が考えた市の施策の改善点などの意見も言いやすくなるので、参考にしてほしい。

やりがいについて

○市議会モニターを最大で3年までできるようになったが、今年はほとんどの人が2年目で、同じ人が3年目に入ることを考えると、市議会モニター研修会の内容などは検討が必要ではないか。

その他

- 大学生の枠を増やしてもいいのではないか。今後の四日市市を担う世代なので、若者の意見を聞くためにも市議会モニターの大学生の人数を増やす必要がある。
 - 議員) 若者の政治や社会への参画は必要である。公募をかけても応募が少ない状況である。どうすれば応募が増えると考えているのか。
- 市議会モニターの間での認知度が低すぎるので、そもそも公募があることを知らない。SNSで周知したりや中高生に周知する機会を設けて、公募をかける前に大学生が市議会モニターを知る機会を設けるべきだ。
- 市議会モニターを経験したことで市議会に興味を持ったので、多くの人に市議会モニターを経験してもらうべきだ。募集しても自由参加では集まらないので、地区単位で強制的に集まってもらって、そこで周知するなどの「知ってもらう機会」が必要だ。

市議会だよりについて、市議会のホームページについて

- 市議会だよりがごみ捨て場にたくさん捨てられているので、税金の無駄遣いだと思う。字が細かくて内容を読まないと思う。
 - 議員) 各家庭に配付された時に中を開いてもらう、「読もう」と思ってもらうハードルを下げる努力が必要だと感じている。
- 近所の人に市議会だよりを読んでいるかを聞くと、「見てない」とか「斜め読みして捨てる」と言われる。小学3年生ぐらいの人でも読めるような書き方でないと読む気がしない。文字が多すぎて年配の人は読みづらいし、イラストが少なすぎて内容がイメージできず、分かりにくい。こにゅうどうくんは意外と知名度があるので、表紙に活用するなど、まず読む気にさせる取り組みが必要だ。
- 市議会だよりについて、紙はもらっても捨ててしまう。読み返すこともないので、データ化すべきである。
 - 議員) 市議会だよりはPDF化して市議会ホームページで公開しているが、いずれにしても市民からの認知が低いので、周知に力を入れたい。年代毎に使うツールが違うので、それぞれの年代に合った発信方法を考えたい。
- 市議会だよりは文字ばかりで読む気がしないので、生成AIを使って、聞きたい内容を要約してくれるようなチャットボットをつくってほしい。それであれば、時間がない中で読む人に向けて短く要約もできるし、小中学生にも分かりやすいように要約するように指示をすれば、若い人でも理解できる内容になる。
- シニア世代から見るとインターネットが便利なのは理解するが、紙で読まない人理解できない人も多いので、紙媒体は残してほしい。費用はかかると思うが、データと紙とを併用してほしい。

○市議会だよりは市民に市議会が自分達の取り組みをPRできるものなのだから、市民にどうしたらいいかを尋ねるのではなく、自分達でどう工夫するのかを考えるべきだ。

→ 議員) 伝えたいことが多く、紙面の都合上、決まった字数しか書けないことを考えると、どうしても内容が盛りだくさんで、文字ばかりの紙面になってしまうので、今後は気をつけたい。

○市議会のホームページは検索機能が弱い。議事録検索以外にも、例えば「JR四日市駅の大学設置」と検索すれば、今までの会議で大学設置に関して行われた議論が検索できると良い。

○市議会のホームページに掲載されている議員一覧に、議員個人のホームページへのリンクがある議員とない議員がいる。また、SNSのアカウントを持っているのに、市議会ホームページにリンクがない議員もいるのはなぜか。市民への情報共有に力を入れていないと捉えられかねないのではないか。

→ 議員) 議員個人としての発言が市議会のホームページに掲載されてしまう可能性があるため、市議会ホームページにリンクがない可能性がある。また、議員個人のホームページを持つことは、各議員の判断なので、ホームページを持っていない議員もいる。

→ 事務局) 市議会のホームページは、広く捉えて四日市市という公的な団体の一部になるので、選挙の時期などに議員個人の選挙活動の内容が掲載されることは問題になる可能性があるので、市議会ホームページにSNSへのリンクが掲載されていないと考えられる。

その他

○市議会の議長任期が1年間というのはあまりにも短いのではないか。議長としての使命を果たせるのか疑問に思う。

→ 事務局) 議員任期が1年なのは相当以前からの慣例である。平成30年に常任委員会の委員任期を2年にする検討をしており、その過程で議長の任期についても議論をしたが、変更されていない。

○市議会議員に定年を設けるべきだ。世界全体で政治に対する考え方が変わってきている中で、その時代に適応している若手の議員の意見が通らないと、時代に取り残されてしまう。

→ 議員) 先輩議員から指導は受けており、また、新人議員も発言する機会があるが、ご意見は今後の参考にする。

○執行部の答弁が長く聞きづらいので、理解できない。原稿を読むだけで、心も感情も入っていない意味のない答弁だ。

→ 議員) なるべく分かりやすい答弁をしてほしいと理事者へ伝える。

○休日に開催される市のイベントに市議会が出向いて、もっと周知をすべきだ。特に若い人達の間で認知が低すぎる。

→ 議員) 自分が上げた声や誰かの提案が市政に反映されるという体験がないので、「どうせ言っても変わらない」という諦めから、市民の議会へ関心が低いことは考えられるので、参考にしたい。

○議員と市民との隔たりが大きいと感じる。市議会モニターは市政に自分の意見を言いたい人の集まりだと思うので、議員との話し合いの機会を増やしてほしい。

○「たくさんの意見が聞きたい」と言うが、それならば zoom などのオンライン参加も募るべきである。身体が不自由で議会報告会やシティ・ミーティングに行けない人でも意見が言えるし、色んな年代が公平に参加できると思う。極論だが、裁判員裁判のように、議会から市議会モニターを指名して仕事をしてもらえば、強制的に市議会に対する理解が深まるし、市議会モニターの職務に対する責任感が生まれると思う。

○紙資料が多すぎるのでデジタル化してほしい。紙は拡大できないので、細かいところが読みにくい。

→ 議員) 議員になる前は隔たりを感じていたので、様々な機会を捉えて、市民との距離を縮めていきたい。

○受け身で市議会の取り組みを聞いても印象に残らないので、能動的に議会に関わる取り組みが必要だ。市議会モニターに自分から手を挙げてもらおうとしても参加されないが、指名されればやらざるを得なくなるので、議会から動きを起こして若い世代を招き入れるといいのではないか。

○10月22日の議会報告会で配付された資料が多すぎる。議案の資料がそのまま掲載されているだけで、解説もないので、内容がほとんど分からない。市議会が頑張っているというアピールをしているだけのように見えてしまう。出席者も少ないので、これだけの分量の資料をたくさん用意していることを想像すると紙がもったいない。